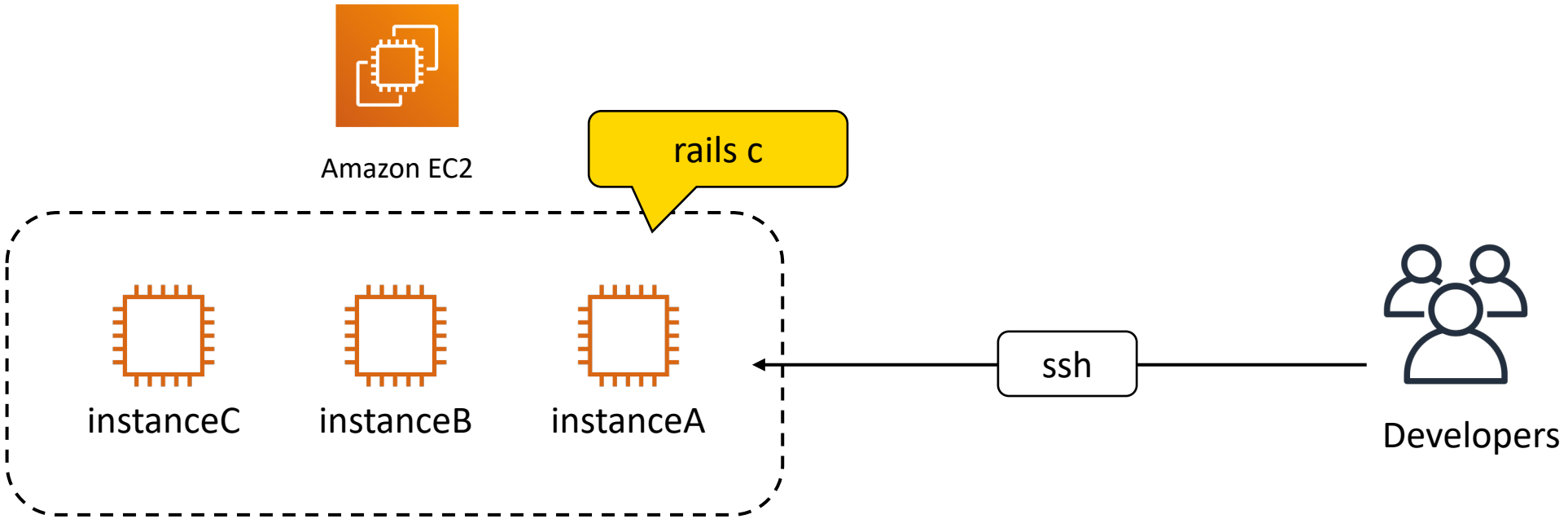
Timee

“rails c” のモダナイゼーション

© Timee, Inc.

リリース当初の構成

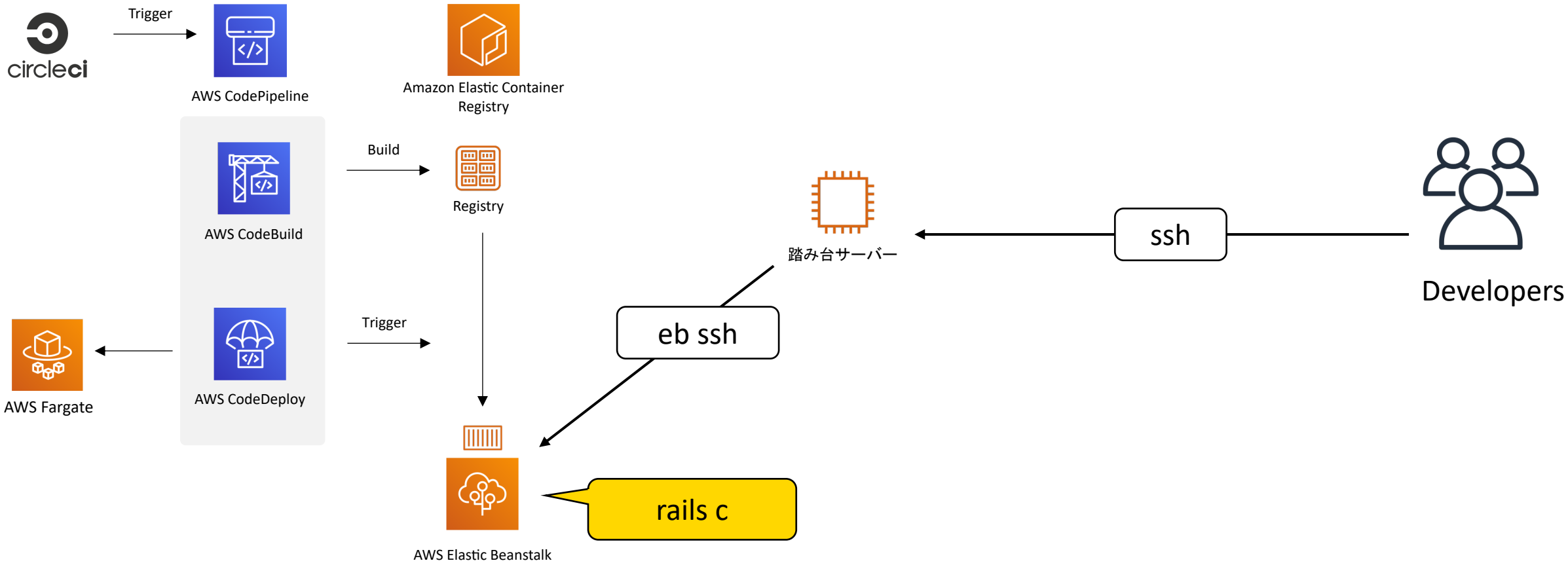
Timee



© Timee, Inc.

EBの時代

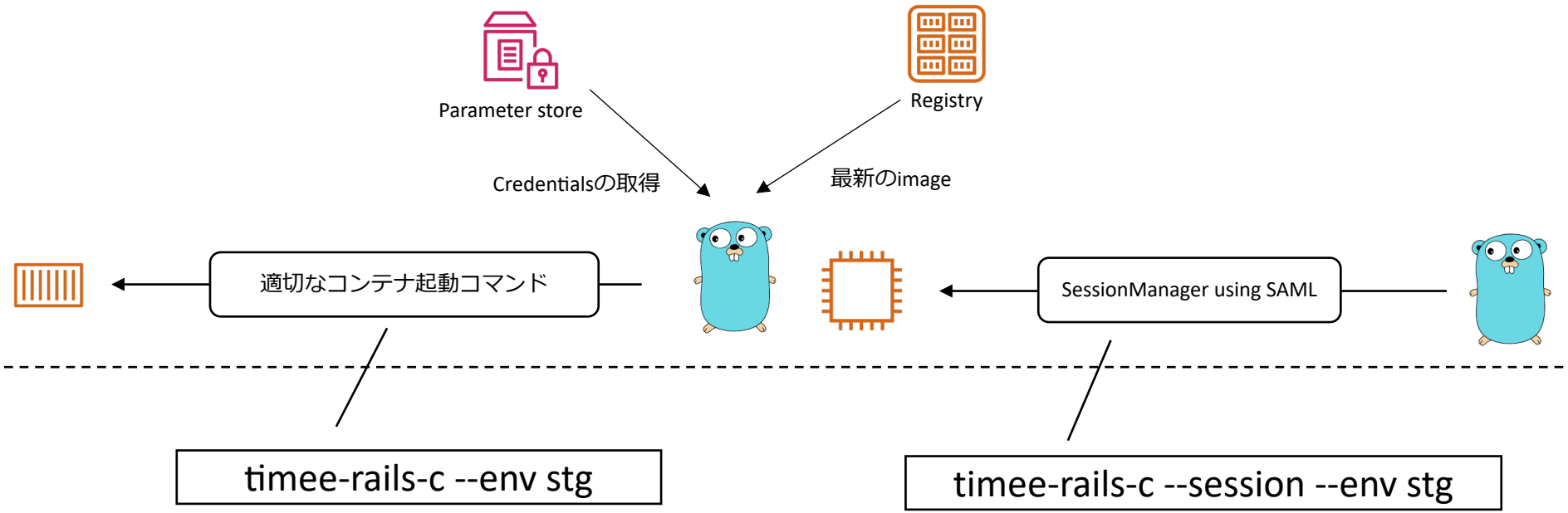
Timee



© Timee, Inc.

SessionManagerの時代（最新）

Timee



What developers do

- ParameterStoreから秘匿情報の取得
- ECRから最新のイメージの取得
- 適切なdocker起動コマンドを発行

- Samlログイン
- 接続先のコンテナを引数から特定
- セッションマネージャーの起動

What go app does with AWS SDK

© Timee, Inc.

まとめ

Timee

- SeedからSeriesBまでrails cとは長い付き合い。
- 改善・改良を重ねシンプルかつ力強いソリューションに仕上がった。
- AWS SDKを活用するとDXを上げる価値提供ができる。

- ほんとはrails cを打たなくていい世界を目指していきたい💪

Speakers

@kameike

@MH4GF

© Timee, Inc.